

Bulletin of Japan Women's College of Physical Education
Vol. 50

日本女子体育大学 紀 要

第 50 卷

令和 2 年 3 月

日本女子体育大学

日本女子体育大学紀要規程（平成28年 学承 第21号）

平成29年2月14日制定
改正 令和元年6月12日

（目的）

第1条 日本女子体育大学（以下、「本学」という。）は、本学における学術研究を促進し、かつその成果を公表することを目的として、大学紀要を発行する。

（名称）

第2条 大学紀要の名称は、「日本女子体育大学紀要」（以下、「紀要」という。）という。

（発行）

第3条 紀要は、原則として年1回発行する。

2 紀要の発行者は本学とし、編集は本学ファカルティ・ディベロップメント委員会紀要編集専門部会（以下、「紀要部会」という。）が行う。

（投稿者の資格）

第4条 筆頭著者は、本学の教員（名誉教授及び非常勤講師を含む）及び職員、大学院学生、大学院研究生、大学院修了生、その他専任教員の推薦状を有し紀要部会が認めた者とする。但し、共著者はこの限りではない。

2 筆頭著者として投稿できる原稿数は、年間1編とする。

（投稿原稿の種類）

第5条 原稿は、未発表のものに限る。また、原稿の種類は、総説、論文、報告、資料とする。

（原稿の執筆要綱）

第6条 原稿は、和文または英文とする。また、原稿には英文抄録及び和文抄録をつける。

2 原稿は、本文、図表、注及び註、引用文献、参考文献などを含めて全角20,000文字以内とする。図表については、大きさに応じて字数換算する。詳細については、執筆要綱を定めた「日本女子体育大学紀要投稿の手引き」による。

（原稿の採否）

第7条 投稿原稿の採否は、紀要部会において決定する。

2 紀要部会は、当該原稿に適した複数の査読者を指定して原稿審査を依頼し、審査担当者の評定に基づき原稿掲載の可否を決定する。原則として査読者は学内者とするが、必要な場合には学外者にも依頼することがある。

（経費）

第8条 紀要発行に要する経費は、原則として発行者が負担する。

2 掲載論文1編につき別刷50部を呈する。それ以上の部数については、著者の実費負担とする。

（研究補助の明示）

第9条 「二階堂奨励研究」、「二階堂学園在外派遣」及び本学「共同研究」等の補助を受けて行った研究等を投稿する場合には、文末にそのこと及びその年度を明示するものとする。

（著作権）

第10条 紀要に掲載された原稿の著作権は、本学に帰属する。著者は、その著作権の本学への移転を了承し、所定用紙に明記するものとする。

2 紀要に掲載された原稿は、機関リポジトリで公開するものとする。

（倫理的配慮）

第11条 日本女子体育大学研究倫理委員会（以下、「研究倫理委員会」という。）の審査を必要とする内容の原稿は、必ず研究倫理委員会の承認を得、その承認番号を記載するものとする。

（雑則）

第12条 この規程に定めるもののほか、紀要の発行に必要な事項については、別に定める。

（事務）

第13条 この規程の実施に係る事務は、大学事務局学術情報課が行う。

（改廃）

第14条 この規程の改廃は、ファカルティ・ディベロップメント委員会及び教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附則

1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、「日本女子体育大学紀要」投稿規程は廃止する。

附則

1 この規程は、令和元年6月12日から施行する。

Bulletin of Japan Women's College of Physical Education
Vol. 50

日本女子体育大学

紀 要

第 50 卷

令和 2 年 3 月

日本女子体育大学

目 次

序 刊行にあたって	日本女子体育大学 学長 石崎 朔子
<論文>	
1. The cloze test and overall, clausal, and subclausal indices of grammatical complexification in second language essays	NAKAMURA Daisuke 1
2. 戸倉ハルとダンス —昭和戦前期のダンス研究に着目して—	村山 茂代 15
<報告>	
3. 統計学系科目における反転授業の試み	五月女仁子 23
4. 保育におけるオノマトペの教材化 —オノマトペかるたを作成して—	松崎 史周 29
<資料>	
5. 特別支援学級「表現・リズム遊び」における児童の変容 —他者との関わり・自己表現に着目して—	墨田 雪香・宮本 乙女 37
日本女子体育大学紀要 総目次 (1967年3月~2020年3月)	49

CONTENTS

The cloze test and overall, clausal, and subclausal indices of grammatical complexification in second language essays	NAKAMURA Daisuke.....	1
Haru Tokura and dance :		
From 1922 to 1941.....	MURAYAMA Shigeyo.....	15
A Trial to Flipped Classroom in Statics class	SOUTOME Hiroko.....	23
The use of onomatopoeia in teaching materials for early childhood education :		
Creation of onomatopoeic playing cards (Karuta) by the students majoring in early childhood education	MATSUZAKI Fumichika.....	29
Developments in children through “Expression and Rhythm Play” in a special support class :		
Focus on interaction with others and self-expression	SUMITA Yukika and MIYAMOTO Otome.....	37

ファカルティ・ディベロップメント委員会
紀要編集専門部会

稲井 達也 (委員長)	三好 昭子 (副委員長・専門部会長)	都筑 真 (担当)
大澤 拓也	笹倉 清則	永野 康治
中村 安菜	中村 大輔	並木 真理子
星川 佳広	松澤 慶信	溝口 紀子
百瀬 ユカリ		

編集協力者

雨宮 由紀枝	大和久 吏恵	加賀 岳彦	小堀 哲郎
瀬川 大	並木 真理子	芳地 泰幸	水野 有希
森田 陽子			

(委員会役職者除く五十音順)

日本女子体育大学 紀 要 第 50 卷

[非売品]

令和 2 年 3 月 31 日 発 行

編 集 兼 東京都市田谷区北烏山 8-19-1
発 行 者 日 本 女 子 体 育 大 学
学 長 石 崎 朔 子
製 作 東 京 都 港 区 三 田 5-14-3
昭 和 情 報 プ ロ セ ス 株 式 会 社

